



創立100周年を超えて、時代にあった学校へ ^{みずか} ^{よし} 自らを由とする そこから全てがはじまる

松江西高等学校 常勤講師募集

！ 学校がやらせる事を極限まで減らします！

脱偏差値・脱知育偏重で、人間らしく生きるための教育に力をいれます！

- 中間期末のテストなし！ 夏休み冬休みの宿題なし！
- 授業は10時からの1日5限！ ● 2週間程度の秋休みもあります！
- 夏休みも冬休みも、他校より1週間程度長い！
- 修学旅行、体育祭、文化祭、遠足、球技大会はあります！
- バイトで社会経験を積み、「主体性+」を育む高校です！
- 生徒の進学には対応していません。地元就職です！

生きる力を我々は
「主体性+」とします

経験・年齢・不問
ノルマなし
【教科・科目自由】

新制度での
西高の取組

【主体性+】をテーマに高校生のアルバイトを推奨！

モットーは「得意に帆を上げろ!」「短所は個性、長所を伸ばせ!」「好きこそものの上手なれ」「教員も共に学ぶ!」

雇用条件
(常勤講師)

月額19万から※ / 週4勤務OK(週30時間でフレックス) / 土日祝休 / 副業OK
 社会保障・雇用保険・交通費あり / 1年任期(継続雇用可) / 要教員免許(教員経験不問)
 教科・科目自由 / 週14時間程度の授業と簡単な校務分掌 / 西高の取組に共感できる人
 ※原則、長期休みは生徒と共に休みですが、月額は支給します。

！ 西高は4月から新しいフェーズに入ります！

常勤・非常勤講師は年中募集中(非常勤は1日からでもOK!)



私学ですが
家計にやさしい学費もやっています!

松江西高の3年間を「解き明かす」

受け身でいる事に慣れてしまった人が、自発的に行動するのは簡単な話ではありません。そこで本校では、**学校がやらせる事※**を**極限まで減らして生徒のみなさんをお迎えます。**(※表面をご覧ください)

たくさん挑戦して、たくさん失敗も大いに結構です。失敗を自分の糧にして、挑戦せずして失敗なし。失敗するから人にも優しくなれます。多様性を受け入れる心が養われます。

自分で決めて動ける人間から、社会に必要とされますので、全力で生徒たちを応援いたします。

シン・校長のメッセージ
受け身でいるスタンスから
自発的に動く人間へ。
松江西高は生徒に
そのお手伝いをします。



Tanaka Ishito
校長の
田中意志人です。
S60.5月生まれ41才、
島根町出身のB型です。

理事長(私学)の 解き明かし

人間性の成長

人の成長にかかわることは、ただごとではありません。そこで登場するのが「シン・校長」。芯(シン)を喰わないとボールも遠くへ飛ばません。力を抜き、経験と人生観で、生徒一人ひとりに寄り添っていきます。アルバイトを軸にするからコミュニケーションが取りやすくなり、オーダーメイドの幸せ作りが始まります。

まずは主体性を育む

建学の精神「社会に役立つ」の前に、子どもたちには「自らを由とする」心を持ってほしい。人と比べることなく、やらされるのではなく、自ら【やる】と決めて生きていく。幸せはまず、職業や仕事で不安を抱えないこと。だからバイト。その上で、人に**優しさ(多様性を受け入れる)を示せる人間**、自らを戒められる習慣を持つ人間になってほしいのです。偏差値の高低ではなく、すべての子どもたちが、このような幸せの「勝ち筋」をつかむことが大切だと私は信じています。

生きる力を未来へ

社会は今、主体的に【やる】人材を待っています。子どもたちは本来、かけがえのない宝です。不登校の子、やんちゃな子、発達特性を持つ子、学力に悩む子…みんな貴重な存在です。にもかかわらず、普通の学校ではラベルを貼られっぱなし。もうそんな時代ではありません。

創立100周年を超えて

高卒は超売り手市場の時代になりました。しかし、これまでと同じことをやってはいけません。外国籍労働者やAIなどリスクもあります。「高校に入学すれば学校がどっかいい会社に就職させてくれる」そんなストーリーはもう松江西高にはありません。そもそもいい会社ってどんな会社なんですか!? 生徒が自分の意思で選び、やる気になって決めた会社こそ、【いい会社】です。三年間でたとえめぐり合わなくても、そんな会社、地元にはたくさんあります。あせることはありません。松江西高は、子どもたちが勝ち筋をつかむまで応援し続けます。



Nagashima Kazuo
理事長の
永島一雄です。
S32.2月生まれ69才、
東出雲町出身のB型です。
生徒が校長に懐く学校
校長は生徒の味方です!
LINEで生徒と保護者とつながり
人間関係の悩みなど整理を
してくれませぬ!!

松江西高で働く常勤講師に聞いてみました!

副業OKが決め手でした

以前からやりたいことがあり、副業してもOKな雇用条件がありがたいです。同じ教育に関わる副業の資格講習などに行ったりしています。夏休みや秋休みには高齢の愛犬との時間を心ゆくまで過ごせ、最期まで寄り添うことができました。高齢の親との時間も増えて良い選択をしました。(60代男性)



どんな子も悪い子はいない

今は週1回授業にサポートとして入っています。高校では珍しく、教室に2人の先生がいることになりました。授業中は挙手やアイコンタクトで私に合図をだしてくれわからないところを聞いてくれます。校長からは好きなようにやってみてと言われていたので気持ちが穏やかでいられ、生徒にもそれが伝わっているのか笑顔を向けてくれます。初めから悪い子はいません。子供達も体制や環境が変わっていくのを実感しました。(50代女性)



自分の勉強にもなる

教科書の日本語がわからない子がいます。できないのが当たり前だと思い、言葉をわかりやすくするために空き時間で頭を使っています。自分の勉強にもなるし、自分の引き出しを増やすという意味もあり、工夫をするのは苦ではないです。生徒達が社会に出た時に困らない程度には、老婆心でいろいろと伝えていきたいです。(60代男性)



周囲に相談しながら

若い時に経験した教員歴は浅く不安でした。前職とはまったく違う業界で、悩みはありつつも周りの人に相談しながら続けられています。コミュニケーションが得意なほうではないので淡々と授業をしています。生徒たちとは少しづつ馴染めたらと思っています。個人的な感想ですが前職の経験上、松江西高校は生まれも育ちも地元出身の人が合うと思います。(60代男性)



同じ目線で接する

行政で勤めた後に民間で色々な職種を経験しました。自分自身が型にはまるのが好きではなく、松江西高校で自分なりに試行錯誤で楽しんで先生をしています。特に生徒たちと同じ目線で同等に接するようにしています。中には態度の悪い子もいますが十人十色です。初めから悪い子はいませんので楽しんで向き合います。(60代男性)



子供の変化がわかる

今年までの6年間、週4日勤務で非常勤講師をしています。1学年が少人数なのでいろんな子の成長が見えてきます。1年生の頃はヤンチャだった子も2年生になると落ち着きだし、話しかけてくれることも。子供の成長はとても早いですね。平日週1日は同居人の介護で、大きな病院に通えるのも良い点です。(60代女性)



プラスはバの余裕・多様性の受け入れ

ずっと変わらない教育制度の中で、知育(授業)より徳育(主体性+)特化の学校があってもいいと思います。(多少の知識はAIに任せよう!)